

KIRAMEKI

vol. 39 Summer 2016

一般社団法人 北海道空調衛生工事業協会

<http://www.doukuei.or.jp>

一般社団法人 北海道空調衛生工事業協会 第23回定時総会

一般社団法人 札幌空調衛生工事業協会 北海道支部会

はじめに

北海道空調衛生工事業協会（道空衛）ならびに札幌空調衛生工事業協会（札空衛）の定時総会と日空衛北海道支部会を2月24日（水）ホテルさっぽろ芸文館で開催しました。

一般社団法人 北海道空調衛生工事業協会 第23回定時総会



道空衛 池田会長

池田会長は、「北海道新幹線の開業効果によって前向きな設備投資が喚起され、その効果が全道に波及することが期待されているが、一方で公共投資が減少していいる地域が拡大しつつあり、完工高の減少に加えて現場従事者の高齢化、労務費や資材費の高騰など経営上の課題や懸念材料が数多くあり、今後の建設投資の動向も不透明なことから、経営の先行きは依然として予断を許さないとの見方を示したうえで、安定した経営基盤のもとで人材を確保・育成できる環境と、若者が入職を希望す

る魅力ある産業を目指し、業界をあげて取り組んで行かなければならぬ」と述べ、会員に協力を要請しました。

続いて「平成27年度事業報告」「平成27年度会計決算報告と監査報告」の承認に続き、「平成28年度事業計画」「平成28年度収支予算」「平成28年度スローガン」が報告され、原案のとおり満場一致で事業執行していくことを確認しました。

一般社団法人 札幌空調衛生工事業協会 第10回定時総会

「平成27年度事業報告」「平成27年度会計決算報告・監査報告」の承認に続き、「平成28年度事業計画」「平成28年度収支予算」「平成28年度スローガン」が提案され、原案のとおり満場一致で承認・決定しました。

総会後の懇親会

札空衛・道空衛の合同懇親会には、会員と賛助会員、ご来賓を含めて139名の皆様にご出席いただきました。ご来賓からご祝辞をいただきとともに日空衛副会長の森井省三様の乾杯で懇親に移り、短い時間でしたが出席者全員が大いに親交を深め、北海道空調衛生工事業協会副会長の小坂典行様の乾杯で盛況のうちにお開きとなりました。

一般社団法人 日本空調衛生工事業協会 北海道支部会

【祝辞を頂いた】來賓

北海道開発局 営繕部 営繕部長

北海道建設部 建築企画監 宮内 孝様
札幌市都市局 局長 京谷 篤様

清水 侯一様
基盤のもとで
安定した経営
したうえで、
人材を確保・
育成できる環
境と、若者が
入職を希望す

平成28年度日空衛北海道支部会は、日比専務理事を講師として「最近の日空衛の活動について」のテーマで講演会を開催しました。

講演では、担い手ニ法の主な改正点を





1級管工事施工管理技士受験準備講習

道空衛では、有資格者を養成するため毎年7月（学科）と11月（実地）に受験準備講習会を開催しています。講習は札空衛の会員企業から講師を派遣していただくとともに、実地試験では、札空衛技術委員会からも添削指導員を派遣してマンツーマンの指導を行っています。平成27年度は学科試験で18名中9名が合格し、実地試験で18名中10名が合格しました。講習会は、本年度も引き続き多数の皆様の受講をお待ちしております。

平成27年度会員・賛助会員親睦交流会



体験型セミナー「キャンドル創りに挑戦」

去る10月2日、恒例の交流会が開催されました。今年はキャンドル創りに挑戦と銘打ってキャンドル工房ル・オーセンティック代表の小野寺典子さんを講師に迎え、久しぶりの体験型のセミナーが行われました。

参加者は用意されたカラフルな蝶の材料をそれぞれ思い思いに配色を考えながら紙の容器に詰め、そこに温めた透明な蝶を流し込み、水で冷やすこと10分弱、紙の容器を剥がすと出来上がりです。

日頃やりなれない作業に没頭して、出来上がったキャンドルを自慢げにお隣同士で比べ合う姿は、なかなか可愛いらしい光景でした。当日は女性社員も3名参加していただき、その後の懇親会も和やかに終えることができました。

来年もまた新たな企画で交流会を開催しますので、よろしくお願ひします。

総務担当：太田 正則

素敵なキャンドルが出来ました！



講師の
小野寺典子さん

池田会長も挑戦！



北海道立北見病院

総合設備・北日本技術設計等共同体

部長 北上 慎

部長 後藤 幸一

次長 造田 晴夫



入院患者が利用する際には、待合ホールを経由せずに放射線部や検査部に至ることができる動線を確保しております。2階の南側に面して人工透析部を配置し、良好な診療環境を形成しています。E.Vや階段に近接し、1階の主玄関からスムーズにアクセスできる計画です。

手術部は北見赤十字病院と同じく3階に配置することによって、上空通路を通り両病院の患者の搬送やスタッフの行き来など、高度医療の連携に配慮した計画としています。

■快適な療養環境の病棟部門

2・3階の日当りのよい南・西面に病室を配置し、その中央にスタッフステーションを配置することによって看護の機動性を高め、手厚い看護体制を実現できる計画としています。

集中治療室は3階スタッフステーションに近接して配置し、効率的な看護を行ふことができる計画とすることも、手術部に隣接して配置し、スタッフの連携を図りやすい計画としています。

「オホーツク圏における腎臓・心臓・呼吸器疾患の高度専門医療センター的役割を担う医療機関として、効率的な運営と北見赤十字病院との連携を図る病院の整備」を事業目的とし、本道においては、少子高齢化が急速に進行し、人口の都市部への集中と過疎化の進行など、地域医療を取り巻く環境は大きく変化している一方、道の医療ニーズは高まってきており、超高齢社会を迎え、住み慣れた地域で安心して医療を受けられる体制の整備が求められています。今回、道立北見病院が北見赤十字病院の隣接地に移転することにより、二つの高度医療機関が集積され、より効率的に効果的な医療の提供が期待されています。

オホーツク圏唯一の心臓血管外科をはじめ、循環器・呼吸器疾患の高度専門医療を提供している道立北見病院と、地方センター病院・救命救急センターとして、第二次医療・高次救急医療を提供している北見赤十字病院の二つの高度医療機関の連携により、患者利便の向上、救命救急医療や合併症患者への治療の充実、先進医療への対応、医療機器などの共同利用による効率的な運営体制を実現するため、新しい道立北見病院の施設整備が進められました。

■機能連携を高める配置計画

北見赤十字病院北館と上空通路で接続し、高度な医療連携を図る計画であるため、北見赤十字病院との接続が可能な位置に建物を配置する計画としています。また、建物の主玄関は、積雪寒冷地であることを考慮し、日当たりの良い南に面して配置し、融雪負荷の軽減を図っています。さらに主玄関に面して大きな庇を設け、雨や雪から来院者を保護する一方、駐車場利用者のアクセスを考慮し、駐車場に面してサブ玄関を配置しています。サービスや救急玄関は建物東側のピロティ部分に配置しています。

■利用しやすい外来診療部門

1階待合ホールに面して外来診療部門を配置し、外来患者が利用しやすい計画としています。また、医事課と隣接させ、スタッフがカルテや情報のやり取りをスムーズに行うことができる計画です。さらに、放射線部や検査部と近接した配置とし、外来患者の移動の負担軽減を図っています。

■機能的な中央診療部門

放射線部と検査部は外来診療部門や待合ホールに近接した配置とし、患者が利用しやすい計画としています。また

設備計画における実施方針

本プロジェクトを推進するに当たり、オホーツク圏における北見病院が果たす重要性を十分認識し、「高度先進医療の提供」が、高いアメニティと安全性が確保された医療環境の下で実践できる、「新北海道立北見病院」を創造するため、地域の中核病院として必要とする機能が継続的に容易に維持できる設備の構築を計画しました。

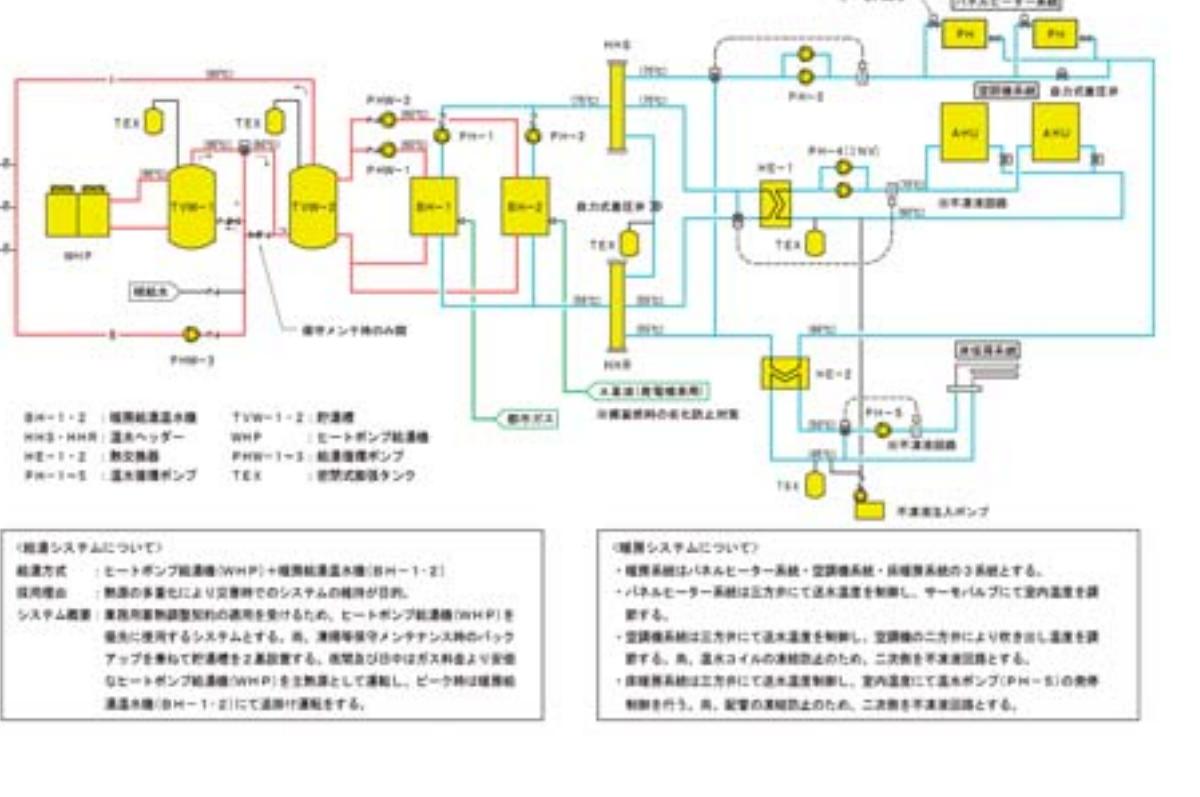
特に、「事業継続計画（BCP）」「患者・医療スタッフへの高度なアメニティ環境の提供」「地域特性を考慮した効果的な環境負荷低減」「ライフサイクルコスト低減」等を考慮した計画としています。設備計画における基本方針としては、次の事項に配慮しました。

- ①快適な環境への配慮
- ②機能性・省エネルギー・省コストへの配慮
- ③コンパクト機器の選定により、省スペース化を図る。
- ④高効率機器の選定、インバータ制御等によるランニングコストの低減。
- ⑤安全性・信頼性・耐震性への配慮
- ⑥系統の細分化により、部門毎の更新を容易にする。
- ⑦主要機器は複数台設置し、故障時・メンテナンス時の相互バックアップを図る。
- ⑧環境保全への配慮
- ⑨高効率機器の選定、インバータ制御等によるランニングコストの低減。
- ⑩室内への騒音・振動の侵入対策及び、空気環境等を考えた計画。

電気設備：受電方式／高圧一回線受電 变压器容量／1,500kVA
予備電源／自家発電機（ディーゼル：低压250kVA）
太陽光発電／ソーラーパネル48枚（発電容量：5 kW）
熱源設備：都市ガス（13A）／真空式温水機（2回路）930kW×1台
A重油／真空式温水機（2回路）930kW×1台
空調設備：空調方式／空冷直膨式熱回収外調機+空冷ヒートポンプエアコン
+温水バネルヒーター（病室のみ）
衛生設備：給水／飲用1系統、加圧給水ポンプ方式（受水槽容量：28m³）
給湯／中央式給湯（エコキュート+温水機によるハイブリット方式）
排水／公共下水道、災害時用汚水槽
防災設備：消火／スプリンクラー設備、消火器

【施設概要】
施設名：北海道立北見病院
所在地：北見市北7条東2丁目
用途：病院
設計・監理（建築）：石井・日本都市設計等共同体
設計・監理（設備）：総合設備・北日本技術設計等共同体
施工：
建築（東1工区）：北成・鐘ヶ江特定建設共同企業体
建築（東2工区）：五十嵐・北洋経常建設共同企業体
建築（西1工区）：大地・山本経常建設共同企業体
建築（西2工区）：天内・大幸経常建設共同企業体
建築（西3工区）：松谷・岡村経常建設共同企業体
建築（建具）：㈱中橋建設
強電設備：横井・北東経常建設共同企業体
弱電設備：電建・桑原経常建設共同企業体
受電設備：エスケー・稻村経常建設共同企業体
暖房設備：小泉・時枝経常建設共同企業体
衛生設備：船橋西川・北辰経常建設共同企業体
空調設備：吉崎・熱学経常建設共同企業体
工期：平成27年3月～平成28年3月

熱源システムフロー図



夢が海を越えた北海道新幹線

大明工業株 代表取締役社長 小林 正明

念願の北海道新幹線が平成28年3月26日に開業しました。新幹線の整備計画策定から42年の歳月を経て、北海道・函館にいよいよ新幹線がやってきます。

北海道新幹線の利便性や効果、開業を活かすため私たちは活動してまいりました。今回は開業日と開業後を見据えた取り組みをご紹介いたします。

まず最初におさらいですが、北海道新幹線は、東北新幹線の終着の新青森駅から、青函トンネルを経て新函館北斗駅（北斗市）へ至る約150kmの区間で、運営はJR北海道が行い、途中に「奥津軽いまべつ」と「木古内」の2駅が設置されます。駅舎は完成し、現在は一部の駅周辺工事を残すのみとなっています。

新幹線が開業しますと、首都圏・東北地域と函館・道南地域が直結し、鉄道による函館までの所要時間は現在と比較し約1時間短縮され、4時間弱埼玉県の大宮駅からですと3時間半少々となります。

北海道新幹線の当面の終着駅となる新函館北斗駅は函館駅から約18km離れた場所に設置されますが、同駅は新幹線と在来線の円滑な乗り継ぎに考慮してホームが並列配置され、双方が中間改札で直結され、乗り継ぎの際に階段の上り下りを必要としない構造となっています。

新函館北斗駅と函館駅間は新幹線開業に合わせて「はこだてライナー」という新型電車が導入されて約17分で結ばれる予定です。

気になるのは新幹線の料金ですが、今年10月、JR北海道が国交省に申請した特急料金をみると、東京・新函館北斗間は2万

2千6百9十円（東京・函館間では2万3千円）となっています。お弁当付き・アルコール飲み放題サービスで人気のグランクラスシートは3万8千2百8十円と発表されました。今回申請された特急料金は運輸審議会の公聴会と審議を経て12月中に国交省が認可すると、正式な料金となります。この申請料金はあくまで定価となるものなので、実際には多様な割引切符や旅行商品が用意されると期待しており、本州・北海道間の流動が新幹線によってより一層活性化されるためにも、利用しやすい料金形態が求められます。そのため10月には青森・函館の両商工会議所が連名でJR北海道へ割引切符等を造成して貰うよう要望活動を実施したところです。

北海道と本州を結ぶ交通手段に新幹線が加わると、飛行機とのサービス競争も生まれます。現在、羽田・函館空港間の航空運賃は、割引のない繁忙期は片道約3万7千円となっていますが、来年3月以降は新幹線と料金競争がスタートしますので、過去に新幹線が開業した青森、富山、金沢地域のように、航空運賃の値下げ（新幹線の普通車指定席運賃を下回る割引運賃の設定）が期待でき、前日予約でも新幹線並みか新幹線を下回る航空運賃で東京・函館間を利用できるようになると予想されます。このようにさまざまなるメリットが私たち利用者に生まれることになります。

函館商工会議所や函館市でつくる北海道新幹線開業対策推進機構では、産業振興や観光振興の分野で必要な取り組みを進めており、地域の受入基盤整備として、函館市民や企業のおもてなしの気運を高めています。

るため、「ようこそ！はこだてへ。」と大きく表示



高橋はるみ知事と握手
「今日ドキッ！」キャスター
ゲッチャー（関口直紀）さんと

体のプロモーション事業は大半が企画コンペにより広告代理店に一括発注されています。設置以降は、民間事業者から寄せられたさまざまな課題について解決策の検討も行っていますが、既存の事業主体に改善を求めることが実施して貰うことの大変さを痛感しているところです。くじけることなく、地元企業一社一社の意識向上を通じ、地域課題の解決と魅力発信に地元企業が総力戦で取り組める態勢をつくり、地域全体の価値向上を図りたいと思っています。

また、私が籍を置く函館商工会議所では、青森と弘前の両商工会議所と連携事業を推進しています。青森商工会議所とは1989年の「青森・函館ツインシティ」提携以来26年の交流の歴史があり、双方が設置している「青函圏委員会」の合同委員会や、議員会の親睦交流事業を中心に行っており、2012年度からは、両地域の企業間取引を促進させるため「会員企業パートナーシップ構築懇談会」を開催しています。

そして弘前商工会議所との連携事業は、2011年当初から合同で事業を行うことを目的としてスタートしたことから連携がスムーズに進みました。それぞれ地元で開催している物産イベントや観光イベントにおいて出店して観光PRを行ったり、お互いに街を訪ねる視察研修会や観光ソーラーを実現しています。元来シティセールスは自治体の事業領域ですが、自治

青森と弘前の商工会議所連携をきっかけに青函エリアの事業者同士の連携も始まり、青森と道南の食材を用いたお菓子が発売されたり、函館の料理人グループが地元でと

れたコメから弘前の酒蔵を使って地酒を造つたりと、さまざまな商品が誕生しています。いずれは青函コラボ商品のブランドを育て、首都圏など大きなマーケットに送り出せるようにしたいと期待しています。事業者間の小さなご縁から取引を拡大させることで、新幹線を活用したヒト・モノ・カネの流動を活発にし、地元にお金が落ちて、地元のなかで循環できる経済社会の構築を目指し、取り組みを進めたいと思っています。

さらに函館商工会議所青年部では2013年度、地元の受け入れ環境整備等を検討する「新幹線開業準備委員会」を設置し、開業先進地として青森市のみならず広く青森県内の事例に学ぶため、弘前・八戸・十和田地域の視察研修を実施し、その際に頂

いた現地事業主体者とのご縁により、その後それぞれの地域のキーマンを招いて講師例会を実施してきました。特に、全身タイツ姿に新幹線のかぶり物パフォーマンスで地元七戸十和田駅を通過する新幹線「はやぶさ」の停車を実現させる運動に取り組んだ「七戸はやぶさPR隊」隊長とのご縁を契機に、2014年8月には自分が発起人となり青年部の有志と「函館はやぶさPR隊」を結成し函館・道南の各種イベントに参加し開業ムードを盛り上げるべく活動を致しました。だまつていても北海道新幹線は開業は致します。しかしながら、それは嫌で行動を起こしました。2015年3月には七戸隊と函館隊がイベントで初めて「連結」パフォーマンスを披露するなど、地元の盛り上げに一役買う存在となっていました。

2014年8月には、埼玉以北の東北新幹線沿線にある33の商工会議所青年部を、新幹線を活用してわずか1泊2日で訪ね歩くという「函館PRキャラバン」を実施しました。3班に分かれて非常に過密な分割でのスケジュールをこなし、メンバーそれが新幹線による行動半径の拡がりを、身をもって体験する機会となりました。これまで新幹線利用経験が少なく、「点と点」の流動である航空利用を中心だった函館の若手経営者たちに、新幹線開業後は「線」の流動をビジネスに実践できるということを感じ取って頂けたのではないかと思っています。今後は新幹線の時間短縮効果を、ビジネスでどう利活用していくか、戦略を立てて取り組む必要があり、道南・函館の企業にも、新幹線開業を活用し利益を導き出していくという態勢を今から準備していくほしいと思っています。

3月26日の開業に合わせ、地元ではイベントが計画されました。新函館北斗駅前では北斗市と北海道が開業日から6日間、そして函館駅前では函館市が「つながる二ヶ

月祭り」と題し26・27日の2日間、九州から東北まで新幹線沿線の著名な「当地グルメの販売や郷土芸能ステージ」が開催されました。4月8日から平成29年2月28日までは「青函圏周遊博」と題し、函館・青森・弘前・八戸の4市をパビリオンに見立てる周遊キャンペーンが始まり、スタンプラリーや特別メニューなどさまざまな企画が展開されました。7月から9月には「青森県・函館デステイネーションキャンペーン(DC)」と題し、青森県を主体に道南の市町村も参画した大型観光キャンペーンが開催されたほか、DCに合わせて函館市内の飲食店で道産食材を用いた特別メニューを提供する「函館まちごちフェア」、7・8月は函館駅前市有地で北海道各地の道産グルメやイベントステージを提供する「はこだてグルメガーデン」も開催し、新幹線で函館にいらっしゃるお客様をさまざまなおいしんでお迎えいたしました。北海道新幹線開業が地元もたらすインパクトは「時間距離の短縮」であり、これまで交流が少なかつた北関東地区など、道内各地の数倍の人口が集積している東北や首都圏地域と時間距離が短縮されることをチャンスとして、観光振興や商取引の拡大を図り、人やモノの流れを活発にしていくことが重要と考えています。新幹線という有名な交通機関ができることで、フリー・バス利用の海外観光客の流動を取り込みやすくなることから、東北・北海道の新たなコールテンルート創出も夢ではありません。

新幹線開業は各種の取り組みのゴールではなく、将来に向けた新たなスタートであり、その活用策の主役はあくまで市民や事業者です。開業による旅行様式の多様化とインバウンド観光の成熟に伴い、今後の道南・函館はより一層個人型旅行が増加することになります。その際に重要なのは、観光消費につながる「見る」「食べる」「買う」「楽しむ」「移動する」ことに関する情報を、

個人客に適切に届けることです。観光の満足度は、それぞれの旅行目的の達成度に加え、旅先でどれだけ親切にされおもてなしを受けたか、不快な思いをせずに済んだかが重要な要素です。

観光客や顧客のニーズに対して、現場で汗を流す民間事業者が抱えている現状課題については、官民挙げて民間事業者の立場に立って考え課題解決をサポートしていくべきであり、それがひいては観光満足度の向上と更なる消費喚起につながるものと考えています。その効果をしっかりと地域に取り込むために、新幹線開業をチャンスととらえ、地域に根ざして頑張ろうという市民や企業が増えていくように、そして多くの市民や事業者を巻き込みながら地域課題の解決策を考えていく現在の作業そのものが、将来の道南・函館において必ず役に立つものと信じ、地域のさまざまなアイデアを結集させて引き続き取り組みを進めたいと思っています。



函館はやぶさPR隊



人生放浪記

— NY編 —



四十過ぎてからの留学なんて少々常軌を逸していまし潜んでいた「破れかぶれ」的なものが起爆剤となり、竹富島で充電されたエネルギーに引火した、とても言つたらいいのでしょうか。信号機や舗装道路すらない集落から世界の首都と呼ばれる街へ——竹富島とマンハッタン島。同じ島でもあまりに違いすぎる。

この突拍子もない行動は、エネルギーの過充電で思考回路がバカになつていたせいか——そんなふうにも思えます。そもそも私は外国に興味があつたわけでもなく、住みたいなどと思ったこともないのですから。今の自分なら間違いなく「なんていきなりニューヨークやねん!!」とツッコミを入れるところです。でも振り返れば、ニューヨークというところは有り余ったエネルギーを解放するには最適な場所でした。かくして私は竹富島から北海道に戻り、ただちに語学留学の準備を始めます。

何の言語を学びに、どこの国などの町に行くか——語学留学をするにあたって、の一番に決める、最も重要なことであるのは言うまでもありません。ただ、

もう一つは自力でやる方法です。お世辞でも資金潤沢とは言えなかつた私は、当然すべてを独力でやる以外にありませんでした。手順や方法はアメリカ大使館のホームページにも詳しく掲載されていますし、インターネットで検索すれば丁寧に説明されたサイトがいくつも出てきますので、チップンカンパンということはありません。しかし、いざ実務に取り掛かると、なかなか骨が折れる。週18時間以上学校に通いながら90日超在留する、いわゆる純“学生”となるには、就学ビザ(F-1ビザ)が必要になります。このビザは、米国政府から認可された教育機関が発行する入学許可証(I-20)がなければ交付されません。なので、まず

「留学する」という技術面でいくと、現実にどういう手続きをしたらいいのか、というのが最大の懸案になつてきます。方法はおおまかに二通りあります。一つは、留学をサポートするエージェント(仲介業者)に任せてしまふ方法です。語学学校への入学手続き、ビザの取得、住居の選定、エアチケットの手配等、旅行代理店がツアーを組むことなく、煩わしいことはすべてやってくれますので、とても便利です。ただし、それなりにお力ねはかかります。いわゆる力ねで解決というやつです。

は学校を決めて入学手続きをするところから始まります。入学手続きに関する学校とのやり取りはウェブサイト上で行い、当然のことながらすべて英語。勉強の一環だと思つて始めたはいいものの、馴染みのない単語に辞書と首つ引きです。「英語がわからないから勉強しに行くのに、こんなわかるわけないじゃん!!」と泣きじみを言つたりました。そんなこんなで、出だしから手間はかかりますが、必要書類の解説・作成は辞書があれば何とかなります。一番難渋したのは入学金の支払いでした。“アメリカはカード社会”という巷説のとおり、たいがいの学校は入学金もクレジットカード払いを強く推奨しています。また、カードを使えばそれほど難しくはありません。しかし私は、自己破産の影響でクレジットカードを作れない状況にありましたので、



Part 2

が唯一の方法となります。時々刻々変動する為替レートを自分で確認しながら、当日もしくは前日の何時何分での相場で現地通貨の入学金に相当する日本円を送金する、という按配です。このちょっと複雑な手続きは、地方の小さな銀行や郵便局ではできません。ただ、郵便局であれば、地方都市でも拠点局なら取り扱ってくれますし、手数料も銀行に比べ割安なので、もし現金のみで海外留学を志す方がいれば、郵便局がおすすめです。送金、登録が済むと、入学許可証が国際郵便で送られてきます。発送前にその輸送方法を尋ねますが、「このとき送料が安いからといって船便にしてはいけません。到着するまでに1ヶ月ほどかかることがあります。多少費用はかさんでも航空便にすべきです。ビザを申請するときには領事館または大使館での面接があり、この面接の予約はウェブサイトに表示された入学許可番号があればできますが、面接当日にはI-20の原本が必要になります。ですから予約する面接日は、手元に原本が届くまでの日数を加味しなければなりません。この算段を、輸送期間が長くて不安定な船便に依存するのははなはだ心もとない。時間に余裕のある人は面接予定日を2ヶ月以上先にして予約すればいいことですが、時は金なり、結局はだ心もとない。時間に余裕のある人は面接予定日を2ヶ月以上先にして予約します。最短の方法を選択したとしても、留学しようと思いつつからビザの獲得に至るまで2ヶ月ほどを要しますから、プラス1ヶ月2ヶ月は経済的にも長すぎます。最短の方法を選択したとしても、留学しようと思いつつからビザの獲得に至るまで2ヶ月ほどを要しますから、

このビザ取得までの間に、別立てで進めなければならないことがあります。それは、住居の確保です。ビザの取得と別立てとは言いましたが、当然、住所不定の者に長期滞在のビザが下りることはなく、申請の際には住所を明示する必要がありますので、この二つの作業は連動します。

たゞ、申請のみに関すると言えば、「仮の住所を学校で用意する」という語学学校もあれば、「とりあえず学校の住所にしておいてよい」というところもありますから、一時避難的にクリアすることはできます。そうは言っても遅かれ早かれ住処は決めなければなりません。

私はビザの申請作業と同時に住居探しを始めました。アメリカという国は部屋を借りるに当たり、日本ほど複雑な手続きを必要としません。保証人もいらなければ、基本的に又貸し又借りもOKです。このため私は、「まあ、ぼちぼちやればすぐに見つかるだろう」と楽観していました。が、この住居探しもっとも困難を極めることになったのです。結論から言うと、自力でアメリカ（ニューヨーク）留学を目指す人は、渡航後最初の1週間か2週間はホテルに宿泊し、その間に現地で情報を集め探し歩いた方がいいでしょう。ニューヨーク市内には日本人向けのフリーペーパーなどが多数出回っていますから、簡単に好物件を搜すことができます。そのことを知らなかつた私は、インターネットを使い、ニューヨーク生活に関する日本人向けサイトで住居の選定作業に取りかかりました。そしてそれは、2ヶ月を優に超える神経戦の始まりでもあったのです。

いくつかあるそのようなウェブサイトにはかなりの情報が載っています。それらの情報を元に、メールを送ったり国際電話をかけたり、のべ30件以上にコンタクトを取りましたが、ことごとく失敗。ルームシェア、いわゆる部屋の間接賃貸には契約書等面倒なものは一切必要ありません。だからといって、口約束のみでの契約成立もない。ここでは、保証金として即金の「デポジット（預かり金）。この場合、日本で言うところの敷金）」が不可

てきます。たゞ、申請のみに関する言えば、「仮の住所を学校で用意する」という語学学校もあれば、「とりあえず学校の住所にしておいてよい」というところもありますから、一時避難的にクリアすることはできます。そうは言っても遅かれ早かれ住処は決めなければなりません。

私はビザの申請作業と同時に住居探しを始めました。アメリカという国は部屋を借りるに当たり、日本ほど複雑な手続きを必要としません。保証人もいらなければ、基本的に又貸し又借りもOKです。このため私は、「まあ、ぼちぼちやればすぐに見つかるだろう」と楽観していました。が、この住居探しもっとも困難を極めることになったのです。結論から言うと、自力でアメリカ（ニューヨーク）留学を目指す人は、渡航後最初の1週間か2週間はホテルに宿泊し、その間に現地で情報を集め探し歩いた方がいいでしょう。ニューヨーク市内には日本人向けのフリーペーパーなどが多数出回っていますから、簡単に好物件を搜すことができます。そのことを知らなかつた私は、インターネットを使い、ニューヨーク生活に関する日本人向けサイトで住居の選定作業に取りかかりました。そしてそれは、2ヶ月を優に超える神経戦の始まりでもあったのです。

ともにかくにも準備万端相整い、未知なる海外生活へと胸躍らせます。思えばこの時の私は、後顧の憂いも無くなつて有頂天になつていたのでしょうか。貸し主の「へなかなか入居者が決まらない」という言葉が何を意味するのか深く考えもひかなかった。その浅はかさがのちのち尾を引くことになるのです。まして、その住居決定の数日後に渡航中止の緊急事態に見舞われることになろうなど、この時はまだ知る由もありませんでした……。

（この続きを、また機会がありましたら紹介させていただきます。）





2012年度に創設されたカーボンニュートラル賞は、カーボンニュートラル社会への取り組みとして低炭素化社会に貢献する活動の活性化とともに、大いに浸透してきました。その分類も新築物件のみならず改修物件の応募も増えてきました。

カーボンニュートラルに関する優れた取り組みを協会内及び社会にさらなる周知還元をするために、今回のきらecoは、「カーボンニュートラル賞」についてと銘打って紹介させていただきます。



建築関連分野の地球温暖化対策ビジョン2050～カーボン・ニュートラル化～ カーボン・ニュートラル賞

建築関連分野の地球温暖化対策ビジョン2050～カーボン・ニュートラル化～

●目的

建築関連17団体により2009年12月に提言された、「建築関連分野の地球温暖化対策ビジョン2050～カーボン・ニュートラル化～」では、2050年の目標を建築に関わるすべての人々と共有し、低炭素社会の実現に向けた建築と都市、地域のカーボンニュートラル化にともに取り組むことが謳われています。

本表彰事業は会員各位が関係する建築設備に係する業績に対し、その実現に向けた活動をカーボンニュートラル賞として表彰することを通して、更なる低炭素化へ向けた意識の浸透を図りカーボンニュートラル化社会の構築に寄与することを目的とします。

●趣旨並びに理念

地球温暖化問題が世界的な課題として認識されるようになってから既に久しいですが、日本は京都議定国議以降この問題に熱心に取り組んできました。

3・11の震災後、温暖化問題に対する日本の対応方針は大きく見直される可能性が大きいですが、その見直しの内容は長期的に見て対応をより強化する方向になると予想されます。特に建築分野に関しては、今まで以上に強い取り組みが求められ、今後の建築の有り方を左右するようになることも想定されます。今まで多くの建築設備技術者が建築分野における温室効果ガス削減努力を続けてきましたが、建築設備技術者は、建築分野において、地球温暖化問題への対応という点で実質的に責任を負うべき立場にあるといつてよいでしょう。また、当協会も、建築設備技術者に対する地球温暖化防止技術の情報提供などを行うことにより、建築設備技術者の活躍を支援してきました。さらに、一般の人々にその活躍や建築設備分野的重要性を周知することも行つてきました。例えば、技術紹介や新しい形で示したものです。

以上のような活動の一環として、2009年末、当

協会は建築関連17団体の一員として「建築関連分野の地球温暖化対策ビジョン2050～カーボン・ニュートラル化を目指して」の提言を行いました。現在この提言に沿ったいろいろな活動を行っていますが、今回この活動の一つとしてカーボンニュートラル賞制度を創設します。

この賞の趣旨は、「提言」の内容に沿つような優れた技術やプロジェクトを見出してかつそれに係わった関係者の貢献を評価することによって、このような取り組みに拍車をかけ、地球温暖化防止に少しでも貢献することです。また、建築分野における温暖化防止対策の効果を適正に評価することは非常に難しいです。具体的な技術やプロジェクトを評価することにより、より簡易で実用的な評価方法を開発・検証・普及することもこの表彰の一つの目的としています。

●カーボン・ニュートラルの定義

「カーボン・ニュートラル」とはエネルギー需要を抑え、必要なエネルギーに対して再生可能エネルギーを調達することで、年間を通しての二酸化炭素排出収支がゼロになる状況や、他のプロジェクトにおける削減量を組み合わせて二酸化炭素の排出収支がゼロとなる状況を指し、「カーボン・ニュートラル化」とは、そのような状況にできるだけ近づけることを意味します。

(注) 建築関連分野の地球温暖化対策ビジョン2050
09年12月)より

建築主、設計者、施工者、建物管理者、建物利用者を対象とする。

（建築設備技術者協会記事より）

次号からは、北海道内における「カーボン・ニュートラル賞」受賞案件を掲載します。

カーボンニュートラル賞とは

建物からのCO₂排出ができるだけゼロに近づける「カーボンニュートラル化」に資する下記に示す建築設備の取り組みを表彰します。

- 省エネルギーの取組み・工夫
- 低カーボンエネルギーへの転換
- 再生可能エネルギー利用・工夫
- カーボンクレジット等

【事前登録】

各年度の9月上旬（予定）

事前登録の書類を事務局まで提出ください。

【応募】

各年度の11月上旬（予定）

応募資料を事務局まで提出ください。

*応募要項は変更される場合があるので、必ず、協会HPに掲載している応募要領を確認の上、応募ください。

■カーボンニュートラル賞の選出

応募業績の所在地に関わる当協会の支部ごとに「カーボンニュートラル賞」及び、「カーボンニュートラル賞支部奨励賞」を選出します。

■カーボンニュートラル大賞の選出

各支部から選出されたカーボンニュートラル賞の中から学識経験者等で構成する選考委員会により選出します。

■対象業績

下記に示す広範囲な業績を対象とします。

種類：建築物全体、建築設備、その他

対象：新築、改修、その他

※設備単体や小規模でも優れた取組みや地域の特性を生かした取組みなども評価します。

■応募資格

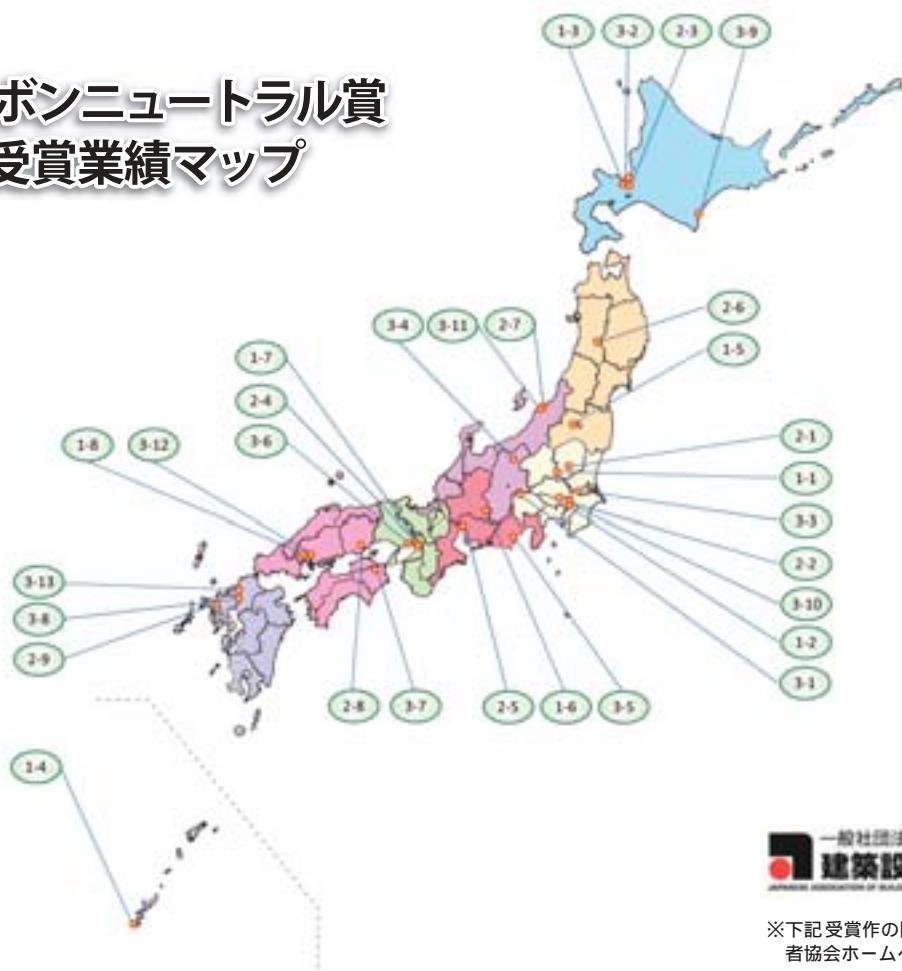
建築設備士（当協会会員または賛助会員に限る）が関与する、個人を含む応募、または機関の応募。

■評価のポイント

カーボンニュートラル化に資する取り組みを業績の種類や対象に関わらず、多角的に評価します。また、定性的な評価と共に、一次エネルギー削減量・CO₂削減量などを定量的に評価します。



カーボンニュートラル賞 受賞業績マップ



一般社団法人
建築設備技術者協会
JAPANESE ASSOCIATION OF BUILDING MECHANICAL AND ELECTRICAL ENGINEERS

※下記受賞作の閲覧は、建築設備技術者協会ホームページを参照下さい。

第3回(平成26年度) カーボンニュートラル賞 受賞業績

3-1 生長の家「島の中のオフィス」 - 日本最初のゼロエネルギービル	3-2 さくらインター8号石狩データセンター外気冷却型データセンターの構造	3-3 三越百貨店東京みらい橋店センターフロアの実現	3-4 電通新本社における環境配慮オフィスの実現

3-5 関西ガス本社ビル	3-6 神戸薬科大学附属病院における環境設備計画と実施	3-7 阿波銀行福島支店全館LED照明と太陽光発電による給排水システムのカーボンリバースの実現	3-8 丸紅工業アカデミーにおける環境配慮技術の計画と実施評価

3-9 エネルギーパークESCO事業	3-10 エナガバタワーにおける環境配慮技術の導入	3-11 廣島エコセンター大野におけるカーボンリバース技術によるCO ₂ 削減	3-12 中部電力の発送電によるCO ₂ 削減	3-13 関電開発の新規事業、新規事業の実現

第3回(平成26年度) カーボンニュートラル賞 支部奨励賞 受賞業績

3-14 サウスポートESCO事業	3-15 サウスポートにて行われる環境配慮技術の導入	3-16 廣島エコセンター大野におけるカーボンリバース技術によるCO ₂ 削減	3-17 中部電力の新規事業、新規事業の実現	3-18 関電開発の新規事業によるカーボンリバース技術によるCO ₂ 削減

第2回(平成25年度) 受賞業績

2-1 熊本県庁舎における低炭素負荷建築の実現

2-2 滋賀県議会におけるCO ₂ 削減による環境改善の導入

2-3 アップグレード化に付ける総合的な環境負担低減

2-4 大阪製鋼西支店の環境計画と実施

2-5 名古屋三井ビルディング本館におけるCO ₂ 削減

2-6 「秋田県立横手温泉旅館中学校・高等学校」電子温浴システム

2-7 心臓血管センター病院におけるエネルギー取り組み

第1回(平成24年度) 受賞業績

1-1 足利市十日町駅における低炭素負荷グリーンホテルの構造

1-2 天理総合技術研究所本館(テクノステーション)のCO ₂ 低減システム

1-3 東洋ガスの瓦斯炉改修した多目的活動施設の中小瓦斯ビル群リニューアル事業

1-4 東洋市役所

1-5 金沢市立ひび野温泉旅館本館

1-6 中津川市の無縫シームレス鋼CO ₂ 削減

1-7 大阪医療生命ビルの設計・施工

KIRAMEKI

vol.39

広報委員会

●道空衛・札空衛

委員長

里中 雅幸 (株)興北暖房工業所
担当理事中山 明 (高砂熱学工業株)
長澤 義直 (日比谷総合設備株)

編集長

河村 憲一 (東洋熱工業株)

副編集長

工藤 守彦 (三建設機械工業株)

池田 真士 (池田暖房工業株)

委 員

山田 力也 (株)昭和プラント)

渡部 正益 (株)日新工業)

安井 和哉 (株)栗林商会)

田尻 康人 (田尻機械工業株)

●道空衛

十勝圏担当:森 賢伸 (森設備工業株)

釧路圏担当:中村 繁 (太平洋設備株)

渡島圏担当:川股 幸徳 (株)川股設備工業)

編集責任者

小林 正明 (大明工業株)

印 刷

株式会社 東和プリント

札幌市中央区北 6 条西14丁目1-1
TEL 011 (208) 5535道空衛広報誌「KIRAMEKI」を読んで
のご意見・ご感想をお寄せ下さい。
投稿もお待ちしております。

●送り先

〒060-0004

札幌市中央区北 4 条西19丁目

北海道設備会館内

TEL 011 (621) 4106

一般社団法人 北海道空調衛生工事業協会

広報委員会

きらめき

道空衛会員各社の“我が社の今一番きらめき、輝いている女性社員”を紹介していく
☆きらめき☆...

Shining woman (道空衛会員名簿掲載50音順)an



第13回 札幌圏支部

砂原設備工業株式会社

工事部

春木 亜美さん

日々のお仕事の内容は?

現 場代理人で現場での写真・安全管理等が主で、施工計画書、図面も作成しています。

どんなことに気をつけて仕事をしていますか?

ま だ2年弱の経験しかないのですが、先輩(主任技術者)のアドバイスを聞き、地域住民の苦情が無いように心掛けております。

会社のPR

社は昭和32年に先代 砂原 雅治が井戸掘削ポンプ主体とし、個人創業後、昭和45年に砂原設備工業株を設立。

地元の給排水暖房工事から、道・市・ほか官庁の管工事の受注もしており、特に個人のお客様の蛇口のパッキンの取替等・除雪など等で地域社会貢献しております。

休日の過ごし方は?

力 メラと旅行が好きなので温泉巡りなどで各地の写真を撮り、楽しんでいます。普段はあまり休日が取れないので、自宅でのんびりと料理を作り、疲れを癒しています。



製葉書

今回も「KIRAMEKI」の発刊に際しまして、多くの方々のご協力をいただきました。
ありがとうございました。今年の2月に行われました道空衛・札空衛の定時総会にて池田会長の挨拶にありました
した長年の夢だった北海道新幹線の開業による効果や日空衛の日比専務理事の講演にありました
「低炭素社会づくり対応」についての記事を掲載しました。

北海道新幹線の開業に向けて地域で行ってきた活動について本誌の発行責任者でもある大明工業の小林社長に寄稿していただきました。まさに体を張ったPR活動:函館はやぶさPR隊は、様々なメディアにも登場していました。行動で主役は自分たち市民や地域を支える事業者だと体現されていました。観光客や顧客のニーズにいかに答えていくか、また地域がこの効果をどうとらえてボトムアップしていくかといった課題など、今後取り組んでいかなくてはならないことが、たくさんあると思います。是非そういった取り組みを本誌で紹介していただいて、みなさんに少しでも活動を知ってもらえればと思います。

本号から「低炭素社会づくりの対応」としてカーボンニュートラル賞の紹介をさせていただきました。私は恥ずかしながら本賞について知りませんでした。今後の号において道内で受賞した作品を紹介し、みなさんによっていたければと思思います。私も、これを機に勉強したいと思います。

編集長